

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公表番号】特表2001-526258(P2001-526258A)  
 【公表日】平成13年12月18日(2001.12.18)  
 【出願番号】特願2000-525373(P2000-525373)

## 【国際特許分類】

**C 0 7 C 275/36 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/17 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/36 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/381 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/428 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/44 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/4436 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/4439 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/47 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/505 (2006.01)**  
**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**  
**C 0 7 C 275/38 (2006.01)**  
**C 0 7 C 275/40 (2006.01)**  
**C 0 7 C 323/44 (2006.01)**  
**C 0 7 D 213/74 (2006.01)**  
**C 0 7 D 215/20 (2006.01)**  
**C 0 7 D 239/38 (2006.01)**  
**C 0 7 D 277/68 (2006.01)**  
**C 0 7 D 317/64 (2006.01)**  
**C 0 7 D 401/04 (2006.01)**  
**C 0 7 D 401/12 (2006.01)**  
**C 0 7 D 409/12 (2006.01)**

## 【F I】

C 0 7 C 275/36  
 A 6 1 K 31/17  
 A 6 1 K 31/36  
 A 6 1 K 31/381  
 A 6 1 K 31/428  
 A 6 1 K 31/44  
 A 6 1 K 31/4436  
 A 6 1 K 31/4439  
 A 6 1 K 31/47  
 A 6 1 K 31/505  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 C 0 7 C 275/38  
 C 0 7 C 275/40  
 C 0 7 C 323/44  
 C 0 7 D 213/74  
 C 0 7 D 215/20  
 C 0 7 D 239/38

C 0 7 D 277/68  
 C 0 7 D 317/64  
 C 0 7 D 401/04  
 C 0 7 D 401/12  
 C 0 7 D 409/12

## 【手続補正書】

【提出日】平成19年1月5日(2007.1.5)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

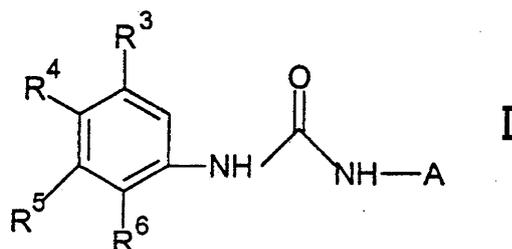
【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

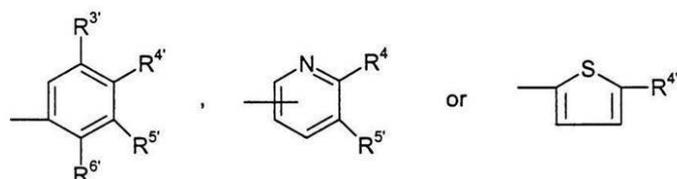
【補正の内容】

【請求項1】

下記式Iの化合物またはその薬学的に許容し得る塩：



式Iにおいて、Aは

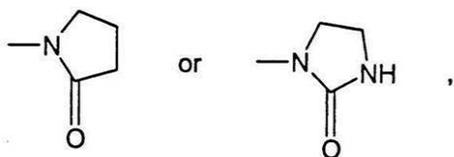


であり、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ および $R^6$ はそれぞれ独立にH、ハロゲン、 $\text{NO}_2$ 、随意にはベル八口までハロゲンで置換された $\text{C}_{1-10}$ アルキル、随意にはベル八口までハロゲンで置換された $\text{C}_{1-10}$ アルコキシ、随意には $\text{C}_{1-10}$ アルキルまたは $\text{C}_{1-10}$ アルコキシで置換された $\text{C}_{6-12}$ アリール、または随意には $\text{C}_{1-10}$ アルキルまたは $\text{C}_{1-10}$ アルコキシで置換された $\text{C}_{5-12}$ ヘタリールであり；

$R^3$ から $R^6$ の一つは-X-Yであり；

隣り合った2個の $R^3$ から $R^6$ は共に、随意には $\text{C}_{1-10}$ アルキル、 $\text{C}_{1-10}$ アルコキシ、 $\text{C}_{3-10}$ シクロアルキル、 $\text{C}_{2-10}$ アルケニル、 $\text{C}_{1-10}$ アルカノイル、 $\text{C}_{6-12}$ アリール、 $\text{C}_{5-12}$ ヘタリール、 $\text{C}_{6-12}$ アラルキル、 $\text{C}_{6-12}$ アルカリール、ハロゲンで置換された5から12原子を有するアリールまたはヘタリール環； $\text{NR}^1\text{R}^1$ ； $-\text{NO}_2$ ； $-\text{CF}_3$ ； $-\text{COOR}^1$ ； $-\text{NHCOR}^1$ ； $-\text{CN}$ ； $-\text{COR}^1\text{R}^1$ ； $-\text{SO}_2\text{R}^2$ ； $-\text{SO}_2\text{R}^2$ ； $-\text{SR}^2$ であり；式中、 $\text{R}^1$ はHまたは $\text{C}_{1-10}$ アルキルであり、 $\text{R}^2$ は随意にはアリールまたはヘタリール環に含まれる $-\text{S}(\text{O}_2)-$ を有する、随意にはベル八口までハロゲンで置換された $\text{C}_{1-10}$ アルキルであり；

$R^4$ 、 $R^5$ および $R^6$ は独立にH、ハロゲン、随意にはベル八口までハロゲンで置換された $\text{C}_1-\text{C}_{10}$ アルキル、



又は随意にはペルハロまで、ハロゲンで、もしくは-X-Yで置換された $C_1-C_{10}$ アルコキシであり、 $R^{4'}$ 、 $R^{5'}$ または $R^{6'}$ のいずれか一つは-X-Yであるか、または $R^{4'}$ 、 $R^{5'}$ または $R^{6'}$ の隣り合った2個は共に、随意には $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、 $C_{3-10}$ シクロアルキル、 $C_{2-10}$ アルケニル、 $C_{1-10}$ アルカノイル、 $C_{6-12}$ アリール、 $C_{5-12}$ ヘタリールまたは $C_{6-12}$ アラルキルで置換された5から12原子を有するヘタリール環であり；

$R^{6'}$ はさらに-NHCOR<sup>1</sup>、-MHR<sup>1</sup>COR<sup>1</sup>またはNO<sub>2</sub>であり；

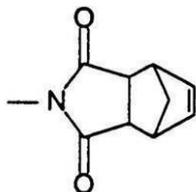
$R^1$ は随意にはペルハロまでハロゲンで置換された $C_{1-10}$ アルキルであり；

$R^{3'}$ はH、ハロゲン、随意にはペルハロまでハロゲンで置換された $C_{1-10}$ アルキル、随意にはペルハロまでハロゲンで置換された $C_{1-10}$ アルコキシであり；

Xは-CH<sub>2</sub>-、-S-、-N(CH<sub>3</sub>)-、-CH<sub>2</sub>-S-、-S-CH<sub>2</sub>-、-C(CO)-または-O-であり；かつ

XはさらにYがピリジルである場合には単結合であることもでき、

Yは $C_{1-10}$ アルコキシ、OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは



で置換されたフェニル、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたピリジル、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたナフチル、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたピリドン、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたピラジン、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたピリミジン、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたベンゾジオキサン、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたベンゾピリジン、または $C_{1-10}$ アルキル、 $C_{1-10}$ アルコキシ、ハロゲン、-OH、-SCH<sub>3</sub>、もしくは-NO<sub>2</sub>で随意に置換されたベンゾチアゾールである。

ただし、もし、Xが-O-または-S-であり、 $R^{3'}$ および $R^{6'}$ がHであり、そしてYがOH以外の置換基で置換されたフェニルであれば、その時 $R^6$ はアルコキシであることを条件とする。